

2023年度環境情報科学研究発表大会

(一社)環境情報科学センター 一般公開シンポジウム

「第6次環境基本計画への期待と環境情報科学センターの貢献」
(仮題)

□日時：2023 年12 月18 日（月）15：00～17：10

□場所：日大会館 2F大講堂 及び オンライン配信

日大会館 ： 東京都千代田区九段南4-8-24

https://www.nihon-u.ac.jp/access_map/map/headquarters/

□主催：一般社団法人環境情報科学センター

□後援：環境経済・政策学会、環境アセスメント学会、環境福祉学会、環境科学会

□参加定員： 150名

□参加費：無料（事前申込制 申込先：<https://ws.formzu.net/fgen/S730895262/>）

なお、基調講演・特別講演はオンディマンド配信となりますので、事前に御覧いただいたうえで御参加ください。

□開催趣旨：

中央環境審議会総合政策部会において、2024年度以降の環境政策の方針を示す第6次環境基本計画について審議が進められており、先日その中間とりまとめが公表されました。そこでは、循環共生型の「環境・生命文明社会」を目指すべき持続可能な社会として、グリーンな経済システムの構築や環境・経済・社会の統合的向上の場としての地域づくり等6つの視点で重点戦略を策定し、その実現に向けての取組みを進めるとしています。

一般社団法人環境情報科学センター（CEIS）は、2022年に設立50周年記念を迎え、年末には一般公開シンポジウム「環境情報科学の将来展望 持続可能な脱炭素社会に向けたCEISの役割」を開催しました。さらに、本年3月には、2030年以降を視野に持続可能な社会の達成に向けてCEISのあるべき姿を示す長期ビジョンを策定し、同時に第2次中期計画2025も定めて重点的な課題を提示して、新たに企画委員会を設置して「次世代の力を活かした持続可能な社会への環境情報科学の貢献」をテーマとして取り組んでいます。

本シンポジウムは、上記のような状況を踏まえて、第6次環境基本計画への期待とCEISの貢献をテーマに、基調講演と特別講演をしていただきます。

これを受けてパネルディスカッションでは、新たな成長を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築、環境・経済・社会の統合的向上の実践・実装の場としての地域づくり、及び「Well-being／高い生活の質」を実感できる安全・安心、かつ、健康で心豊かな暮らしの実現という、主として3つの視点から現状と課題についての発表とディスカッサントによるコメントをいただき、今後の展望、実践への課題等を議論します。

これらを通じて、中間とりまとめで示された「環境収容力を守り環境の質を上げることによって経済社会が成長・発展ができる」文明の構築、及び現在及び将来の国民が希望を持てる「Well-being／高い生活の質」の実現に向けて、環境情報科学の発展と第6次環境基本計画の策定・実践に向けての貢献を目指します。また、CEISとして中期計画及び長期ビジョンの効果的な実施に向けて、成果の反映を図ります。

□講演者(予定)

基調講演： (オンディマンドで事前公開)

第6次環境基本計画の目指す社会と環境情報科学の果たす役割 (仮題)

講演者： 高村ゆかり 東京大学未来ビジョン研究センター教授
中央環境審議会会長 (総合政策部会部会長)

特別講演： (オンディマンドで事前公開)

持続可能な社会構築に向けた環境省の取組 (第6次環境基本計画改定等の議論を踏まえて) (仮題)

講演者： 上田康治 環境省官房長 (前環境省総合環境政策統括官)

パネルディスカッション： (対面及びオンライン配信)

モデレーター： 村上暁信 筑波大学システム情報系教授、(CEIS常務理事、企画委員会委員長)

パネリスト：

堀井 亮 大阪大学社会経済研究所教授

小谷幸司 日本大学生物資源科学部教授、(CEIS理事、地域循環共生圏の推進のための研究に関する提言検討WG 進行役)

村山武彦 東京工業大学環境・社会理工学院教授 (CEIS理事、英文誌刊行等委員会委員長)

ディスカッサント：

大倉紀彰 環境省大臣官房政策調整官

(以上 敬称略)

問合せ先：環境情報科学研究発表大会事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7

E-mail : online@ceis.or.jp

https://www.ceis.or.jp/sympoinfo_2023.html